



「第2回 (仮称) マンガの聖地としまミュージアム展示・建築設計検討会議」の報告

平成29年9月15日、豊島区役所において、第2回(仮称)マンガの聖地としまミュージアム展示・建築設計検討会議が開催されました。高野区長ほか、里中満智子座長をはじめとした委員18名が参加しました。



議事

(1) 建築設計の基本方針

事務局より、建築設計の基本方針について説明を行った。

- ①土足とする範囲は玄関までとし、1階・2階とも靴を脱いで観覧する。
- ②窓は、博物館としての機能を確保するため、気密性・断熱性を重視したはめごろし窓とする。2階の居室再現では、外壁の内側に内壁を設置し、当時の素材に近い素材で整備する。
- ③附属施設と再現施設は、ガラスの渡り廊下により接続する。
- ④附属施設は、収蔵庫、収蔵庫前室（整理作業室、特別閲覧室を兼用）、搬入口・荷解室、スタッフルーム、来館者用便所を備える。
- ⑤開館時の玄関の開閉機構として、A.再現した玄関扉を常時開放する、B.再現した玄関扉は開放し、内側に自動ドアを設置する、C.玄関扉を模した自動ドアを設置する、の3案を提案。
- ⑥正面玄関とは別に、附属施設にも入口を設置する。こちらは、誰もが利用しやすいよう、バリアフリーに配慮した形とする。

主な意見

- ・玄関はできる限りオリジナルに近くなるよう再現してほしい。
- ・館内には大事な資産があるので、セキュリティはしっかりしておくべき。
- ・玄関で靴を脱ぐ、また、玄関の開閉機構としてはB案とするのが、多様な問題の解決方法としては妥当であろう。
- ・施設規模は決まっているので、団体に対しては、グループ分けして見学してもらうなど、運用上の対応を検討する。

高野区長 挨拶

ここまで本当に長い道のりがあり、里中座長をはじめ皆さんに熱心に進めていただいたことが推進力となり、区の職員、としま未来文化財団、丹青社の協力によって、ようやく先が見えてきたのではないかと考えています。私は、南長崎1丁目から6丁目までが同じ方向にまちづくりを進めていくことが基本だと考えています。現在は、シャッターが目立つ通りになっているトキワ荘通

(2) 展示設計の基本方針

事務局より、展示設計の基本方針について説明を行った。

- ①基本計画を踏まえ、常設展示・再現展示・企画展示を行うほか、地域情報発信コーナーを設置する。
- ②室内に展示するアイテムを定期的に変更することで季節感の演出や定期的な展示更新を行い、再来館の促進につなげる。
- ③2階居室再現では壁間を活かして、居室の窓からの風景や公園に向けてトキワ荘の窓に明かりが灯る様子を演出する。

主な意見

- ・どんな博物館でも、企画展をどう回していくかで集客が大きく変わってくるので、力を入れてやらなければいけない。企画展の内容が、その博物館の信用や話題性につながっていく。
 - ・コレクションによって、展示事業の展開方法が大きく変わってくるので、コレクションの方針についても検討すべき。
 - ・寺田ヒロオの展示は、トキワ荘通りお休み処に残した方がよいのではないかと。
- せっかく再現施設ができるのであれば、そこで寺田ヒロオの部屋をじっくりと味わいたい。

(3) 公園整備の基本方針

事務局より、公園整備の基本方針について説明を行った。

- ①マンガの聖地としまミュージアムのある公園として、訪れる人々が楽しめる環境を整備する。また、トキワ荘の再現に必要な屋外での整備に加え、マンガをモチーフにした遊具等も導入し、トキワ荘の雰囲気と調和した公園を整備する。
- ②具体的に整備するアイテムとしては、玄関前にあった棕櫚の木、「トキワ荘」看板、電話ボックスなどのほか、マンガをモチーフにした遊具や昔の遊び道具等が挙げられる。また、施設周辺の夜間管理のためのフェンスを設置する。
- ③既存の公園機能については、移設等により維持できるよう、検討する。

主な意見

- ・花咲公園が小さくなるということではなく、全体としてトキワ荘のある公園のあり方を考えてほしい。
- ・トイレは新築が改修すべき。
- ・地元町会の現状の利用も踏まえて、調整を図っていく必要がある。
- ・防災倉庫や防災井戸等も、再現施設となじむよう考えるべき。
- ・緑化計画を重視し、全体の植栽が減らないよう対応すべき。

りを変えていくことを目指し、空き店舗等の活用に向けた現状調査に着手します。そして、本施設の整備をきっかけに、まち全体を変えていくエリアマネジメントを推進します。

また、この度、豊島区が2019年の「東アジア文化都市」となることが決定しました。豊島区の次のステップに向けて、文化推進を図っていきます。